

## 1 5 港湾春闘情報

各単組の取り組み状況について（3月30日(月)現在）

- 1) 全 港 湾 4月3日を統一回答指定日とし、要求額、基本給一律 20,000 円の獲得をめざし、各地区で交渉中。
- 2) 日港労連 3月25日に第4回中央港湾団交休会中に開催した、第1回港荷団交(通算4回目)は業側より基準内賃上げ 5,000円の回答があった。組合は「到底納得できる回答ではないが、適正料金が確保されていないなかでの回答として受け止め、3月29日の24時間ストは延期する」ことを確認した。尚、次回団交は、4月2日(木)に開催する。
- 3) 検数労連 3月26日(木)15時より、第5回労連団交を開催し、両協会から有額回答(定昇)が提示された。
  - ① 全日検：職員 A・B 定昇/1,200円を確保する。
  - ② 日 検：定昇 満55歳以下/2,500円、満56歳以上/2,000円組合は有額回答提示について極めて低額であるが、ゼロ回答からすれば一定の前進と判断できる。尚、29日のストについては延期し、産別指示の4月5日(日)のストの通告を行った。
- 4) 検定労連 3月12日に第1回労連団交を開催。今春闘は2年連続のベースアップが最重要課題であり、適正料金収受は賃金原資確保のためには必然であると主張した。今後の交渉は、夫々の単組(新日本・海事・(株)シンケン)で並行交渉を行うことを確認した。尚、次回団交は4月6日(月)を予定。
- 5) 全倉運 統一回答指定日3月25日(水)現在の各単組回答内容は、34単組で、そのうち25単組(前年21)に有額回答の提示があった。回答内容は、前年同期を単純・加重とも若干ではあるが上回った。また、一時金の交渉では、春夏型が18単組、年間型が7単組となっているが、有額回答6単組(前年5)の内容は、前年同期を下回り、回答保留も7単組(前年11)となった。

単純平均：25単組 4,694円(1.82%)  
加重平均 1,809人 4,895円(1.91%)
- 6) 大港労組 3月27日(金)に5,000円の回答(船内統一交渉)
- 7) 全日通 3月19日(木) 17:00 妥結  
＜妥結内容＞ ① 賃上げ=5,910円(賃上げ1,000円)  
(昨年実績 5,320円定昇のみ)  
② 一時金=年間112万円(夏55万円・冬57万円)  
その他、特別給与金の増額(昨年108万円)

以 上